

総務産業常任委 町内所管事務調査

10月25日～26日

旧一の橋小学校・土壌改良施設・
町立下川病院・地震に係る停電対応・
財政状況 ほか

集落産業価値化事業に係る 旧一の橋小学校

町、(株)ベルシステム24、
ラ・バルカグループの三者
連携協定に基づき、集落産
業価値化事業として、菓子
製造工場として活用するた
め、改修のため設計等が完
了している。

所見

SDGs（持続可能な開
発目標）のパートナーモデ
ル事業としているが、SD
Gsに準拠した事業として
継続性を十分検証のうえ、
事業計画との精査が必要で
ある。



旧一の橋小学校

土壌改良施設

当施設は平成14年度に建
設され、現在、「下川環境
サービス」が指定管理によ
り運営している。

所見

酪農業の牛糞は、共同大
規模化による資源化が推進
されたことにより、牛糞を
受け入れ、農家に還元して
いくとの、当初の事業目的
が変わってきている。



土壌改良施設

所見

施設の老朽化によって、
今後は更に修繕費が増加し
ていくことになる。施設の
あり方を検証しながら、方
針を明確化する必要がある。

地域包括ケア

町立下川病院は、医療機
器も整備され各検査に役立
っている。また、名寄市立
総合病院との連携も深めて
きている。高齢者が多い中
で、介護、福祉を包括しな
がら連携を図りケアをして
いる。医療、福祉施設等の
スタッフが不足しているが、
確保は厳しい。



町立下川病院での聞き取り

所見

人材を確保するためには、
抜本的な解決策を講じる必
要がある。在宅医療にあた
っては、本人、家族の意向
を十分踏まえながら、現実
的な対応が求められる。

北海道胆振東部地震 に係る停電対応

地震時の停電対応として、
非常発電機による防災・消
防システムの維持、発電機
の手配、広報車等による周
知、入浴サービスなどの対
策を講じた。冬季に向けて
の対策は、これからの事
である。

所見

住民の「安全・安心」は、
行政の最重要課題である。
冬季を迎える、今後の対策
には万全を期すこと。

※調査の一部を抜粋し掲載
しています。